

# フォレストニュース

植林が地球を救う  
平成26年(2014)6月10日  
No. 78  
発行 高津啓洋

## 湘南フォレストツアー・江の島・鎌倉

5月31日(土) NPO地球の緑を守る会 湘南支部主催の湘南フォレストツアーが晴れ渡った江の島・鎌倉(長谷)で行われました。湘南支部長の奥平里美さんが中心となって母親のたみ子さん、弟の一樹君、昌斗君が協力して準備してくれました。植生ガイドは

奥平里美さんがメインで、サブが森本さんという宮脇先生の講演で里美さんが出会った方でした。

参加者は他に飯野貞夫理事夫妻、岩澤春比古夫妻、高橋容子さん、高橋嘉子さん、青木真由美さんそして吉本邦男の13名でした。

午前10時小田急片瀬江ノ島駅を出発して奥平支部長が用意してくれた「江の島Forest Tour Map」に従って引き潮の海岸を散策しながら断崖に力強く育つタブの木などの土地本来の木の様子を見ました。



たが、農業高校生の彼は実によく植物や木を知っていました。飯野先生ご夫妻はじめみな木々に癒され石段を上り、緑道を仲良く歩きました。高橋容子さんはみんなが驚くほど元気に歩かれました。昼食は「シラス井定食」でとてもお

さわやかな潮風を受けながら爽やかな気分になりました。児玉神社から通じる緑道は断崖の上であり、手つかずの木々を見ることができ、里美さん等の名ガイドで楽しく植生を学びました。モッコク、コナラ、ネズミモチなどの葉っぱのにおいを嗅いだり、なめてみたりもしました。昌斗君は「歩く植物図鑑」と里美さんが紹介してしまし

いしかったです。飯野理事夫妻が奥平さんたちの求めに応じてレダでの植樹や飲み水のことなどを話しました。森本さんも南米パンタナールおよびレダ開拓の様子にとっても関心を持っていました。昼食の後、江ノ電に乗って長谷に行き、御霊神社の巨大なタブの木など見てツアーを終えました。(吉本)

## パラグアイ川の増水続く



パラグアイの首都で、洪水が深刻化し、15万人が避難しています。レダも川の増水が続いています。

アスンシオンも川の流域が洪水となっています

【お知らせ】 2011年にパラグアイ川が氾濫し、洪水が続きましたが、今年も心配される状況となっています。植樹による土手保護のためにも、皆様のご支援をお願いいたします。